

ていたことは、漢鏡や鉄製品などの出土が、北九州からほとんどなくなり、同時期より畿内からの出土が多くなることにより分かる（岡村秀典『三角縁神獣鏡の時代』吉川弘文館）。

この九州から畿内への勢力移動の樞になったのは出雲と考えられる。出雲は朝鮮半島の力を借り、鉄の流通経路を北九州から奪ったが、畿内勢力は、すかさず出雲に圧力をかけ、畿内に鉄を入れたと考えられる。それが、出雲風土記や古事記に残る「大國主命の国譲り」の説話であろう。日本書紀では出雲はほとんど抹殺されているのは、大和政権にとって、出雲から権力を奪った歴史を隠したい、何らかの意図がうかがわれる。

まさか1300年後に、出雲の荒神谷遺跡から×印をつけられた358本の銅剣や、加茂岩倉遺跡からやはり×印をつけて急いで埋納されたような銅鐸が偶然発見され、出雲に大きな勢力があったことがバレてしまうとは、記紀の執筆者は思いもしなかったであろう。

空想を急ごう。魏に遣いを出し魏鏡を受け取ったのは、九州の卑弥呼（巫女の総称）だ。

畿内の卑弥呼（おそらく台与）は、九州の行動を知り、直ちに各地の連合国家に指示し、山陰から海路で北九州に、瀬戸内から日田市の基地経由で、九州の邪馬台国に攻め入って滅ぼし、三角縁神獣鏡を

奪い取る。その三角縁神獣鏡は明器におとしめられ、畿内を中心に全国から500枚を超えて発見される。

大和の首長連合国家は、連帯の象徴である威信財を前方後円墳に変え、同じ規格で、しかしサイズの違いで王や豪族を格付けしたのであろう。

近畿政権の九州攻略は、神功皇后やヤマトタケルの説話に姿を変えて残したようだ。

魏志倭人伝の著者、西晋の陳寿にすれば、中華思想で著述するのが主で、日本列島の方向や距離、そして政権移動にはそれほどこだわらなかったようである。

このようなことは後世にもあったことに気が付いた。527年継体天皇の時代、勝手に新羅と結んで叛逆を企てたという罪で攻め滅ぼされた、筑紫の君磐井の乱である。福岡県八女市の岩戸山古墳の主で、石人石馬など独特の文化を持っている。彼にすれば、歴史的にも心情的にも朝鮮半島は外国というより隣の家感覚であったろう。

魏への朝貢は、九州の卑弥呼にすれば本家は自分の方であり、中国本土に漢に代わる大国が誕生した今こそ、かつての勢力を取り戻すために取った当然の行動だったのではないだろうか。偽僭説などとは心外であろう。

さて、今年は何をテーマに旅に出ようか…

お知らせ 研修会等への託児サービス併設費用の助成について

当会では、育児中の女性医師などに対し、学習する機会を確保することにより、勤務継続や復職の支援を行うことを目的に、**全道規模の専門医会等**が主催・後援する会議や研修会などにおいて託児サービスを併設した場合の費用として2万円を上限に助成することといたしております。

つきましては、該当の会議、研修会等がございましたら、当会事業第五課までご連絡くださいますようお願いいたします。

助成基準

1. 対象 全道規模の専門医会等が主催・後援する会議、研修会、講演会など
【助成内容】託児室利用料、保育料、交通費
(遊具・おやつ・おむつ等購入代は対象外)
2. 期間 平成24年4月～平成25年3月実施分
3. 助成額 2万円を限度として実費を助成いたします。
4. 申請方法 領収書の写し等を添付の上、所定の用紙※によりご申請ください。
※ 下記連絡先までご請求願います。

《連絡先》 北海道医師会事業第五課
〒060-8627 札幌市中央区大通西6丁目
TEL 011-231-1434 (直通) FAX 011-241-3090 E-mail: 5ka@m.douji.jp